

夕刊 著城新報

行發日六月七... 刊休日翌日祭國日

短歌の思出

駒嶺抱夢

○荒鷺も花の木の間に眠るらむ足柄山の春の夜

明治三十八年頃でなかつたか大阪毎日新聞が刊行

歌だ、作者は忘れたが選者尾上柴舟、與謝野昌子の諸

六月題詠

新妻久満男選

○返り照に染め映されし切切雲、しばし心せ

○聖堂の銀の十字架に薄日さし、重き雲とよ梅

○雨はれて白き雲とよしきりなり、すゞきの露

○白々と空に浮く雲のしすがに、夏の光りを

田園寸言

島田忠夫

個人誌『田園』の第二號を世に送り出した。創刊號

御援助を受けました。かくて、第二號も出来たわけ

口からは黄色い歯が見え夏は陽が毛肌を照し

『矢張り殺される』

『死罪ですか』

『黙らなさい！』

『さうです！』

『有難う存じます』

『さうです！』

『さうです！』

『さうです！』

初夏偶成

落花流水暗生愁

燕語鶯鳴如有節

我甘天賦復何求

蘭蘭泉光伯生

設置(明治)二△華族

に五爵制定(同一七)△小

野さつき訓導勸業(大正

一)△中村、井形兩烈

ランブヤ乞食

西日をうけて熱くなつた

埃だらけの捨石より

まだ味気な、生命がある

正体もなく城山のごとに

疲れきつて

汗を流し、いびきをかい

て寝てゐる

て寝てゐる

高橋是清

松浦泉三郎作

佐々木今朝吉書

奴隷(三)

『これは聖剣道場ではない

ブラウンは苦々しく言つ

た

『一體何と云ふ事だ』

『はい。フイの奴が...』



祖母の不慮の戒めだつた

『何と云ふ事だ』

『はい。フイの奴が...』

『それはどうしやうと言

ふ、僕を侮辱

しました』

『黙らなさい！』

『死罪ですか』

『黙らなさい！』

『さうです！』

『有難う存じます』

『さうです！』

『さうです！』

『さうです！』

『さうです！』

御宴會

久野電機

ニ子自動車商會

大至急 會員募集

上原家政婦會

出前持ち

ニ子自動車商會

ニ子自動車商會

大至急 會員募集

上原家政婦會

出前持ち

ニ子自動車商會

ニ子自動車商會

大至急 會員募集

上原家政婦會

出前持ち

ニ子自動車商會

ニ子自動車商會

大至急 會員募集

上原家政婦會

出前持ち

ニ子自動車商會

ニ子自動車商會

大至急 會員募集

上原家政婦會

胃腸性病性 院醫科性腸胃

石炭 時節柄ガゼン値下げ

大河内整形醫院

フタバ商會

平製氷會

大至急 會員募集

月曜論

平青年團と資金

近來青年團、婦人會等の各種團體が興行其他適當の方法を以て頻りに資金造成の舉に出づつあるは、固

百萬噸宛出して

壽命は優に約五十年

約五十年に亘つて行はれる福永炭礦所長の案内で同港を視察した

四倉第二期工事陳情

新妻町長一行上京す

國學院の遊説隊

第三校で講演會

來十三日日本社後援の下に

充分研究せよ

平町の合併交渉に

市制施行を急いでいる平町四ヶ村事務打合せは昨五

新舞子海岸を飾る

モダン仁井田川橋

愈々今秋十月竣工

櫻丘會館

來る總會に提案

日用品物價

白米一等一キロ二四錢

警炭優勢を示す

三大炭礦野球リーグ

庭球はドロゲム

三大炭礦庭球大會は昨日

華麗な花祭會

あす平第二校で

主人の金を横領し

カフエーでホロ

山田に八月

電話

情夫と出奔

人妻に搜索願

搾取男横田

十四日公判執行

裁判たより

住居不定無職西白

東北興業株式會社

振興電力株式會社

夏ノ裝飾品

青蒿、朝顔、ヘチマコルド

森下商店

新形風鈴金十錢ヨリ一圓マデ

東北興業株式會社

振興電力株式會社

夏ノ裝飾品

青蒿、朝顔、ヘチマコルド

森下商店

新形風鈴金十錢ヨリ一圓マデ

東北興業株式會社

振興電力株式會社

夏ノ裝飾品

青蒿、朝顔、ヘチマコルド

森下商店

新形風鈴金十錢ヨリ一圓マデ

東北興業株式會社

振興電力株式會社

夏ノ裝飾品

青蒿、朝顔、ヘチマコルド

森下商店

新形風鈴金十錢ヨリ一圓マデ

東北興業株式會社

振興電力株式會社

夏ノ裝飾品

青蒿、朝顔、ヘチマコルド

森下商店

新形風鈴金十錢ヨリ一圓マデ

東北興業株式會社

振興電力株式會社

夏ノ裝飾品

青蒿、朝顔、ヘチマコルド

森下商店

新形風鈴金十錢ヨリ一圓マデ

東北興業株式會社

振興電力株式會社

夏ノ裝飾品

青蒿、朝顔、ヘチマコルド

森下商店

新形風鈴金十錢ヨリ一圓マデ

東北興業株式會社

振興電力株式會社

夏ノ裝飾品

青蒿、朝顔、ヘチマコルド